

Vol. **52**

June 2022

アイフル通信

第45期 期末報告 2021.4.1~2022.3.31

アイフル株式会社

証券コード 8515

経営理念

誠実な企業活動を通じて、 社会より支持を得る

経営テーマ

環境変化に応じた組織・制度の変革と デジタル技術の活用により、 IT金融グループとして成長を遂げる

- アイフルグループが100年企業、更にもその先も社会から支持され続けるために、これまで以上に「誠実な企業活動」を行い、「新たなリーダーとそれを支える社員の努力と結束力」で実現する
- 今後は、これまでの縮退期に遅れが生じた能力評価・人員配置の適正化と組織体制の合理化を加速させるとともに、技術革新による変革と創造を実践する
- 変化する社会的ニーズに対応できる安全性・収益性・成長性の高いグループへと生まれ変わり、持続可能な発展への貢献を果たす



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年3月期は、お客様目線に立ったスピーディな対応やサービスの提供、資金ニーズや市場環境の回復を見越し、効率的な宣伝費用の投下を行ったことにより、新規申込件数および新規獲得件数は前年同期比で大幅に増加しております。

今後におきましては、経営課題の一つである利息返還請求への対応を行いつつ、アイフルの認知度を活かした効果的な広告戦略や様々なグループ商材の販売により、グループ全体で営業アセットの拡大を図ってまいります。



🍃 経営戦略

当社は変わる事の無い根幹を成す考え方として、「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」を経営理念として掲げておりましたが、2021年4月、理念体系を再構築し、「VISION/MISSION/VALUE」を設計しました。

VISION

For Colorful Life. 自分の色が輝く社会に

生活にも仕事にも、自分らしさを。
アイフルはひとりひとりの彩りで、社会をもっと輝かせていきます。
あらゆる人が、自分らしくいられる未来を創造していくために。
私たちは、その人らしい色を大切にします。

MISSION

Be unique 個性を認めあおう

お互いの個性を尊重しあいながら、多種多様の価値を創出し続ける。

Go beyond お客様の期待を越えよう

常にお客様の視点に立ち、スピーディかつ全力でお客様の期待を越え続ける。

Step forward より良い明日を作ろう

日々改善を重ねていくことで、多くの人の幸せな明日に貢献する。

VALUE

[誠実]

Be honest

[努力]

Try harder

[信頼]

Build relationship

[感恩]

Be grateful

また、「IT金融グループとしての成長」を掲げており、デジタル・データ分析・デザインの3分野において、専門知識を持った人員の採用および育成の強化を進めております。また、各分野における内製化を推進することで、「顧客利便性の向上」「コスト削減」「対応スピード向上」を図っております。

今後、10年20年先を見据え、組織・制度の適正化と合理化を加速させるとともに、技術革新による変革と創造を実践することで、変化する社会的ニーズに対応できる「安全性」「収益性」「成長性」の高いグループへと生まれ変わってまいります。

🍃 2022年3月期の業績について

営業収益については、営業貸付金利息ならびに信用保証収益の増加等により、1,320億円(前期比3.6%増)となりました。

また、営業費用においては、利息返還関連費用の計上等により、1,208億円(同9.9%増)となりました。

以上の結果、営業利益は112億円(同35.9%減)、経常利益は122億円(同36.5%減)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、非支配株主に帰属する当期純利益13億円を計上した結果、123億円(同33.1%減)となりました。

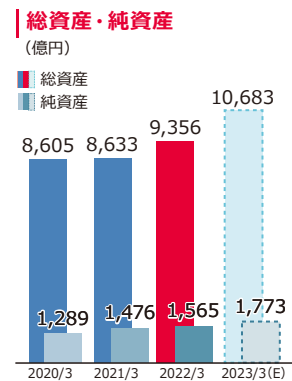
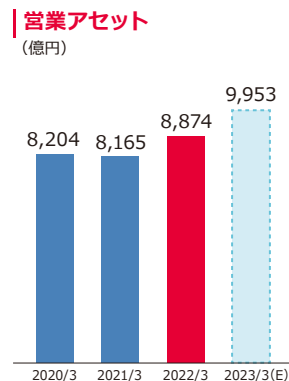
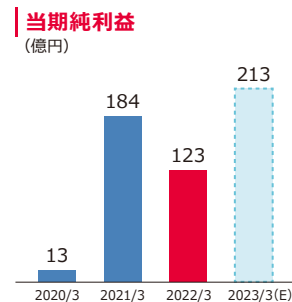
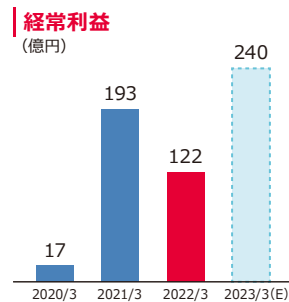
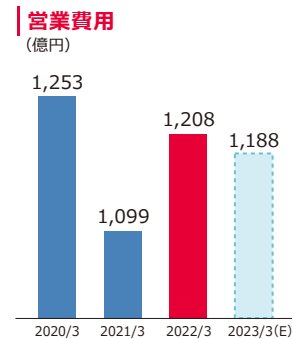
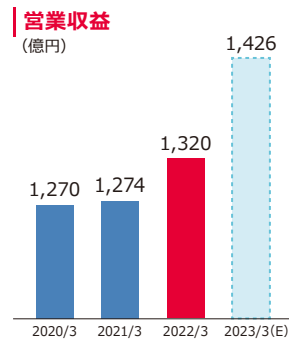
🍃 2023年3月期の計画について

2023年3月期の連結業績予想は、営業収益1,426億円(前期比8.0%増)、営業費用1,188億円(同1.7%減)を見込んでおります。この結果、営業利益は238億円、経常利益は240億円、親会社社に帰属する当期純利益は213億円を計画しております。

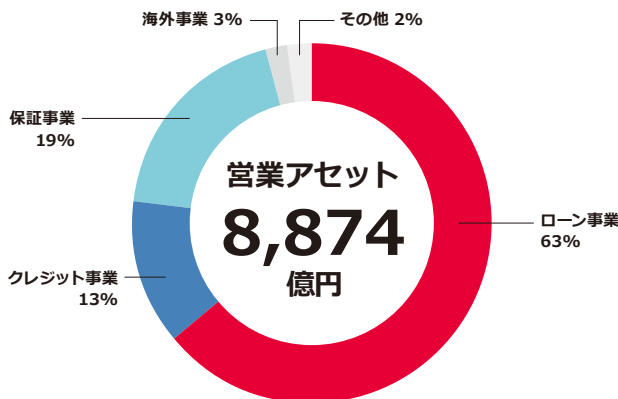
最後に

新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う景気減速、ウクライナ問題の影響によるエネルギー価格高騰や世界的な金利上昇局面など、引き続き注視が必要な状況が続いておりますが、当社においては安定した収益を確保することで「安全性」をより高めつつ、経済活動の回復に伴う資金需要を取り込み、引き続き「収益性・効率性の向上」および「高い成長率」を目指してまいります。今後も全てのステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよう、全力を尽くしてまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2022年6月
アイフル株式会社 代表取締役社長
福田光秀



事業別概要



ローン事業(国内)

国内でのローン事業は、新型コロナウイルスの影響により資金需要が前期期初に大きく落ち込んだ影響を受けましたが、前期下期以降回復基調が続き、当期末の営業貸付金残高は5,589億円(前期末比+5%増)となりました。このうち無担保ローンの残高は4,818億円(同5%増)、事業者ローンの残高は588億円(同10%増)となりました。

アイフルにおいては、テレビCMやWEBを中心とした効果的な広告戦略のほか、お客様の利便性向上に向け、公式サイトやスマホアプリ、申込フォームの改修など、お客様目線でのサービス向上に取り組み、新規成約件数や営業貸付金残高の増加に努めております。その結果、当期の新規申込件数は、63万7千件(同59%増)、新規成約件数は21万件(同30%増)となりました。

クレジット事業

ライフカードでは新規提携カードの発行や大型提携先での店頭カード入会のWEB化、新デザインカードの募集などにより入会申込の拡大に努めるとともに、会員向けWEBサイトや公式アプリの改修により利便性向上を図ることで、既存カード会員の稼働率向上などに取り組んでまいりました。

その結果、当期末の有効会員数は524万人(前期末比3%減)、カード買上額は6,885億円(同6%増)、連結での割賦売掛金残高は1,167億円(同7%増)となりました。

また、割賦売掛金残高には2020年3月期より連結対象のアイフルギランティーにおける個別信用購入あっせん残高147億円を含んでおります。

信用保証事業

信用保証事業につきましては、個人及び事業者の与信ノウハウや独立系の強みを活かし、保証残高拡大に向けた商品の多様化や新規保証提携の推進に取り組んでまいりました。その結果、連結の信用保証残高は1,717億円(前期末比19%増)、個人向け無担保ローン保証残高1,427億円(同15%増)、事業者向け保証残高290億円(同43%増)と前期末比では2桁成長を維持しております。

海外事業

タイ王国では、2020年3月に発令された非常事態宣言により、店舗営業が全面停止となるなど経済活動が制限されたことから、一時的に市場が縮小しておりましたが、その後の経済活動の再開に伴い個人消費も回復基調にあります。消費者金融事業を営むAIRA&AIFULにおいても、一時的に全店舗で営業を停止するなどの影響を受けましたが、その後は店舗営業を再開し、また新スコアリングシステムの導入を行うなど優良顧客の獲得に取り組んでおります。その結果、口座数は33万件(前期末比0.3%増)、ローン残高は234億円(同11%増)となりました。(AIRA&AIFULは12月決算のため、口座数・貸付残高ともに2021年12月末時点の実績となります)

ローン事業(国内)

5,589 億円 (前期末比+5%)

主要数値

無担保ローン : 4,818億円 (前期末比+5%)

事業者ローン : 588億円 (前期末比+10%)

クレジット事業

1,167 億円 (前期末比+7%)

主要数値

買上実績 : 6,885億円 (前期末比+6%)

割賦売掛金残高 : 1,167億円 (前期末比+7%)

信用保証事業

1,717 億円 (前期末比+19%)

主要数値

個人向け保証残高 : 1,427億円 (前期末比+15%)

事業者向け保証残高 : 290億円 (前期末比+43%)

海外事業

234 億円 (前期末比+11%)

主要数値

口座数 : 330千件 (前期末比+0.3%)

貸付残高 : 234億円 (前期末比+11%)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	前期末 (2021年3月31日)	当期末 (2022年3月31日)
[資産の部]		
流動資産	809,712	880,801
現金及び預金	40,950	44,448
① 営業貸付金	516,340	547,457
② 割賦売掛金	101,719	110,244
営業投資有価証券	1,701	2,312
③ 支払承諾見返	170,553	193,225
買取債権	3,173	5,338
その他	33,473	35,681
④ 貸倒引当金	△ 58,201	△ 57,906
固定資産	53,642	54,841
有形固定資産	17,765	16,908
無形固定資産	5,306	6,737
投資その他の資産	30,570	31,195
資産合計	863,354	935,642

	前期末 (2021年3月31日)	当期末 (2022年3月31日)
[負債の部]		
流動負債	499,596	549,257
支払手形及び買掛金	38,265	40,919
支払承諾	170,553	193,225
⑤ 短期借入金	100,750	77,310
1年内償還予定の社債	15,075	35,000
1年内返済予定の長期借入金	146,136	166,786
その他	28,815	36,015
固定負債	216,065	229,859
⑤ 社債	15,000	-
長期借入金	180,677	197,271
⑥ 利息返還損失引当金	12,913	24,594
その他	7,474	7,993
負債合計	715,662	779,116
[純資産の部]		
株主資本	143,536	152,495
資本金	94,028	94,028
資本剰余金	13,948	14,017
利益剰余金	38,669	47,560
自己株式	△ 3,110	△ 3,110
その他の包括利益累計額合計	2,019	1,404
新株予約権	-	-
非支配株主持分	2,136	2,626
⑦ 純資産合計	147,692	156,526
負債純資産合計	863,354	935,642

(注) その他は1円桁まで足した数値を記載しております。

① 営業貸付金

ローン事業の無担保ローンの増加を主な要因として、会計ベースの営業貸付金残高は前期末比6.0%増の5,474億円となりました。なお、流動化による調達のため、営業貸付金の一部をオフバランスとしております。

② 割賦売掛金

アイフルギランティにおいて、新規加盟店の開拓ならびに買上が順調に推移した結果、会計ベースの割賦売掛金残高は前期末比8.4%増の1,102億円となりました。

③ 支払承諾見返

信用保証事業が順調に推移した結果、オフバランスとした営業貸付金(流動化債権)に対する保証を含めた会計ベースの支払承諾見返残高は前期比13.3%増の1,932億円となりました。

④ 貸倒引当金

当期において、貸倒損失の発生分279億円(うち利息返還請求にかかる債権放棄は8億円)を引当金から取り崩した一方、279億円の繰入を行った結果、貸倒引当金は前期末比2億円減(同0.5%減)の579億円となりました。なお、利息返還請求にかかる債権放棄の引当金は、前期末比1億円増(同5.9%増)の28億円となり、利息返還請求以外

の貸倒引当金は、前期末比4億円減(同0.8%減)の550億円となりました。

⑤ 有利子負債

金融機関からの借入や公募社債の発行など、資金調達の多様化を進めた結果、有利子負債は前期末比21.1億円増(同4.1%増)の5,318億円となりました。また平均調達金利は前期末比0.1pt減の1.22%となっております。

⑥ 利息返還損失引当金

利息返還金82億円(前期末比31.9%減)を引当金から取り崩した一方、199億円の繰入を行った結果、利息返還損失引当金残高は245億円となりました。利息返還請求にかかる債権放棄引当金8億円(前期末比6.5%減)を引当金から取り崩した一方、10億円の繰入を行った結果、利息返還請求にかかる債権放棄の引当残高は28億円となりました。結果、利息返還損失関連の引当金総額は前期末比118億円増(同75.7%増)の274億円となりました。

⑦ 純資産

純資産は、利益剰余金の増加を主な要因として、前期末比88億円増(同6.0%増)の1,565億円となりました。

連結損益計算書(要旨)

	前連結 会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	当連結 会計年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
⑧ 営業収益	127,481	132,097
営業貸付金利息	74,041	76,332
包括信用購入あっせん収益	18,646	18,833
信用保証収益	14,524	15,730
その他の営業収益	20,268	21,200
⑨ 営業費用	109,950	120,855
金融費用	7,248	7,041
貸倒関連費用	38,818	27,918
その他の営業費用	63,883	85,895
人件費	16,902	16,704
宣伝関連費用	9,821	14,590
広告宣伝費	3,013	11,321
販売促進費	6,808	3,269
⑩ 営業利益	17,530	11,242
営業外収益	1,928	1,058
営業外費用	153	35
⑪ 経常利益	19,305	12,265
特別利益	-	-
特別損失	1,156	-
税金等調整前当期純利益	18,149	12,265
法人税、住民税及び事業税等	2,965	2,602
法人税等調整額	△ 2,610	△ 3,374
当期純利益	17,794	13,037
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 642	703
⑫ 親会社株主に帰属する当期純利益	18,437	12,334

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

⑧ 営業収益

営業貸付残高増加に伴う営業貸付金利息ならびに、信用保証収益の増加等により、前期比3.6%増の1,320億円となりました。

⑨ 営業費用

足もとの利息返還請求の動向などを勘案し、利息返還損失引当金繰入額を199億円計上したことなどによって、前期比9.9%増の1,208億円となりました。

⑩ 営業利益・経常利益

以上の結果、営業利益は前期比62億円減(同35.9%減)の112億円、経常利益は前期比70億円減(同36.5%減)の122億円となりました。

⑪ 親会社株主に帰属する当期純利益

非支配株主に帰属する当期純利益7億円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は123億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	前連結 会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	当連結 会計年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
⑫ 営業活動による キャッシュ・フロー	20,280	△ 15,628
⑬ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 9,274	△ 2,218
⑭ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 18,813	21,028
現金及び現金同等物に係る 換算差額	232	20
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 7,574	3,201
現金及び現金同等物の 期首残高	43,520	35,945
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	-	-
現金及び現金同等物の 期末残高	35,945	39,147

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

⑫ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは営業貸付金の増加による資金の減少などにより、156億円(前期は202億円の収入)の資金を使用しております。

⑬ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出などにより、22億円(前期比76.1%減)の資金を使用しております。

⑭ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れによる収入などにより、210億円(前期は188億円の支出)の資金を得ております。

E nvironment

クールビズ・ウォームビズの推進

『クールビズ・ウォームビズ運動』を推進し、エネルギー使用量の削減に努めております。



カードご利用明細Web化などの省資源

クレジットカードご利用代金明細書のWeb化により、ペーパーレスで環境に配慮したサービスを推進しております。



S ocial

海外拠点での教育支援

AIRA&AIFULはタイ王国でローン事業を展開しており、現地でのCSR活動にも積極的に取り組んでおります。2021年12月にチュラロンコン大学の学生を対象としたハッカソンを実施し、2022年3月には中学生向けのプログラミング教室を開催致しました。国内だけでなく、海外拠点においても地域社会への貢献を目指しております。



ハッカソンの様子



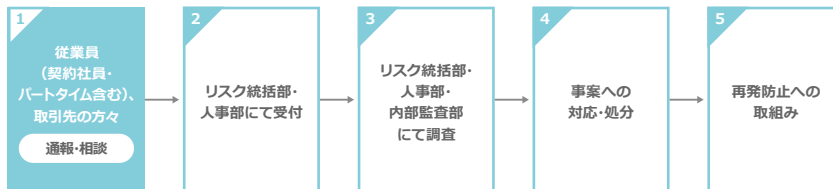
プログラミング教室の様子



G overnance

コンプライアンス・ホットライン

公益通報者保護法その他関係法令の主旨に則り、社内外に通報窓口を設置しております。社内通報制度規程では通報者のプライバシー保護に配慮した調査・審議の実施、社内通報を行ったことを理由とする不利益な取り扱いの禁止、通報内容に対する守秘義務などを定め、通報者の保護に配慮して運営しております。また、通報窓口の設置について、ポスターの掲示や勉強会の実施などにより積極的に社内での周知を行い、相談しやすい環境の整備も行ってまいります。



会社概要

2022年3月31日現在

商号	アイフル株式会社 (AIFUL CORPORATION)
本社所在地	京都市下京区烏丸通五条上る高砂町381-1
創業	1967年(昭和42年)4月
設立	1978年(昭和53年)2月
資本金	940億28百万円
代表者	代表取締役社長 福田 光秀
社員数	2,116名(連結)
店舗数	848店(有人20・無人828)
ホームページ	https://www.aiful.co.jp/

アイフルグループ一覧

	・無担保ローン ・事業者ローン ・信用保証
	・クレジット ・信用保証
	・事業者ローン ・有担保ローン
	・サービサー ・企業再生
	・ベンチャーキャピタル
	・クレジット
	・企業再生
	・倉庫・文書管理代行
	・後払い決済
	・家賃債務保証
	・無担保ローン
	・中古車オートローン
	・診療報酬等担保ローン
	・貸付型クラウドファンディング
アイフル住まいるリースバック	・不動産リースバック事業

1967年	4月	現会長福田吉孝が個人経営の消費者金融を創業。
1978年	2月	株式会社丸九高(現アイフル株式会社)を京都市に設立。
1982年	5月	株式会社丸高が関連会社3社を吸収合併し、商号を「アイフル株式会社」に変更。
1984年	2月	ATM稼働開始。
1985年	3月	第1次スコアリングシステム(自動与信システム)導入。
1994年	11月	ハートフルセンター(現コタクトセンター)の開設。
1995年	3月	自動契約受付機「お自動さん」を設置。
1997年	7月	日本証券業協会に株式を店頭登録。
2000年	3月	東京証券取引所市場第一部に指定。
2001年	1月	ビジネクス株式会社(現アイフルビジネスファイナンス株式会社)を設立。
2001年	3月	株式会社ライフの完全子会社化。
2001年	11月	アストライ債権回収株式会社(現AG債権回収株式会社)を設立。
2004年	3月	国際キャピタル株式会社(現AGキャピタル)の完全子会社化。
2007年	4月	新経営理念を発表。 「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」
2011年	7月	グループ再編を実施。
2014年	1月	ライフギャランティー株式会社(現アイフルギャランティー株式会社)が割賦保証業務を開始。
2014年	12月	タイに合併会社 「AIRA & AIFUL Public Company Limited」(A&A)を設立。
2015年	10月	A&Aが「A Money」ブランドでタイでの消費者金融を開始。
2015年	11月	グループ会社のあんしん保証株式会社が東証マザーズへ上場。
2017年	4月	創業50周年を迎える。
2017年	5月	インドネシアで中古車オートローンを取り扱う REKSA FINANCEの株式40%を取得。
2018年	4月	企業の事業再生を行うアストライパートナーズ株式会社(現アイフルパートナーズ株式会社)を設立。
2019年	3月	グループ会社のあんしん保証株式会社が持分法適用会社へ。
2019年	4月	全国に展開するアイフルの有人店舗をアイフルグループの商材を販売する法人営業組織へ移行。
2020年	6月	後払い決済事業を行うAGミライバライ株式会社を設立。
2020年	7月	グループ会社5社の商号を変更。
2021年	7月	診療報酬等担保ローン事業を行うAGメディカル株式会社が事業を開始。
2021年	9月	貸付型クラウドファンディング事業を行う AGクラウドファンディング株式会社を事業を開始。
2022年	4月	不動産リースバック事業を行うアイフル住まいるリースバック株式会社を設立。
2022年	4月	東京証券取引所プライム市場へ移行。

株主情報

株式構成

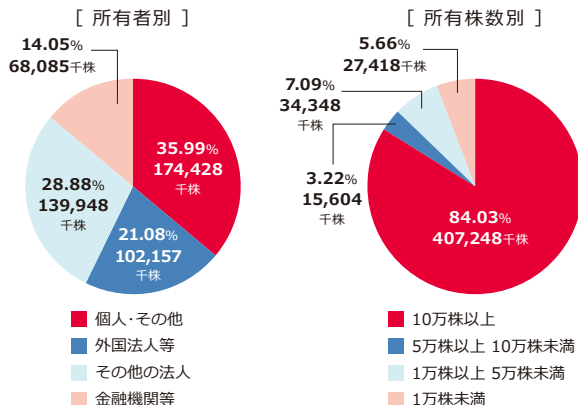
2022年3月31日現在

発行可能株式総数	1,136,280,000株
発行済み株式の総数	484,620,136株
株主数	24,847名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社AMG	94,814	19.56
福田 光秀	62,155	12.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	43,038	8.88
株式会社丸高	24,543	5.06
株式会社日本カस्टディ銀行 (信託口)	19,180	3.96
JP MORGAN CHASE BANK 385632	17,984	3.71
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	14,804	3.05
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	12,307	2.54
MSIP CLIENT SECURITIES	11,346	2.34
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	4,702	0.97

株式分布図



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

インターネットホームページURL
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

単元株式数 100株

公告方法 電子公告

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

銘柄コード 8515

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

アイフルグループのホームページでは、会社情報、サービス内容、IR情報など最新の情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



アイフルIRウェブサイト
<https://www.ir-aiful.com/>

アイフル株式会社
<https://www.aiful.co.jp/>

ライフカード株式会社

- クレジットカード・法人カード
<https://www.lifecard.co.jp/>
- プリペイドカード V-Preca
<https://vpc.lifecard.co.jp/>



 アイフル